



## 水道管更新に係る施工の取扱い等について



- 「水道施設の耐震化の推進」が全国の水道事業者において優先すべき課題。
- 管路等の更新に要する財政負担の増大が、特に中小の水道事業者にとって重い負担となっている。



管路等更新の重い財政負担 ⇒ 財政負担を軽減することにより、水道施設の耐震化の推進

## 道路関係



- ・管路更新時に発生する残置管について、**道路法第40条第1項ただし書き**の類推適用により、現状回復が不適当な場合として取り扱うこと 〔要望事項(1)〕



- ・国道及び都道府県道における水道管埋設後の**舗装復旧条件の緩和**及び**基準の統一**を図るとともに、**法定耐用年数が経過した舗装**に係る舗装復旧については、**道路管理者での実施又は費用負担**を行うこと。 〔要望事項(2)〕

## 改正後[道路法]（原状回復）第40条 第1項

道路占用者は、道路の占用の期間が満了した場合又は道路の占用を廃止した場合においては、占用物件を除却し、道路を原状に回復しなければならない。  
ただし、原状に回復することが不適当な場合においては、この限りでない。

- ・工期の長期化に伴い受注者の施工体制に影響が及ぶ
- ・既設管の撤去に要する費用が重い負担になる



- ・耐震化を加速させるための公共工事コスト縮減対策として、**浅層埋設の推進**を図ること。 〔要望事項(3)〕

## 橋梁関係・その他



- ・橋梁への水道管添架及び仮設管の設置に係る載荷重について、現在、統一基準がなく各地域の許認可担当ごとで対応が異なるため、国として**統一的な基準等の早期策定**を行うこと。 〔要望事項(1)〕
- ・**水道管路布設工事に係る積算業務**においても、省力化を図るため、一部の工種（土木・舗装等）で導入されている「**施工パッケージ型積算方式**」等の研究を**推進**すること。 〔要望事項(2)〕
- ・農林水産省が所管し、水道事業者と共有している取水施設及び導水路の**耐震化**を図るため、ランクA1の水道施設に求められる耐震性能を確保するための診断及び補強工事が迅速に進むよう措置を講じること。 〔要望事項(3)〕